

派遣研究者	山形大学大学院 理工学研究科 准教授 松尾 徳朗	1082005
研究集会名	IEEE/ACIS International Conference on e-Activity (in conjunction with IEEE/ACIS International Conference on Computer and Information Science 2008)	
出張期間	平成20年5月14日～16日	
開催場所	アメリカ合衆国 ポートランド市	
発表論文	A New Software Engineering Education Methodology based on Analogical Thinking in Distance Learning (遠隔教育における類推的思考に基づいた新しいソフトウェア工学教育方法論)	

概要：

IEEE/ACIS International Conference on Computer and Information Science は計算機科学の進展において極めて重要な役割を担っているだけでなく該当分野の研究者の交流及び意見交換などにおいて有機的な場を提供する場となっている。会議の規模は、3日間ののべ参加者数が、およそ500人程度であると思われる。今回はトータルで350件の技術論文が投稿され、そのうち審査の上位30%である110件程度が採録された。

本会議において私は、ソフトウェア工学における新しい教育技法について講演を行った。参加者はおよそ15人であった。ここではインターネットを用いた教育を行う際にシステムがどのように人に関わればよいか、人間の経験を用いてシステムがどのように学習者に教授内容に関する理解を促進させればよいかを議論した。参加者からは、システムのテスト、及び教育効果について質問され、特に教授法により細部に渡っての学習者へのサポートが今後の課題であると認識した。